



幸樹

こう じゅ

第 60 号

2020 年 3 月 1 日



ホームページ



職員募集

発行・一般社団法人幸樹会「幸樹」編集委員会

.....幸樹会事業所.....

からたち薬局・介護ショップからたち ☎047-710-2785

あんず訪問看護ステーション ☎047-701-5559

あんず居宅介護支援事業所 ☎047-701-5558

ケアステーションゆず ☎047-701-5506

看護小規模多機能型居宅介護さんしょう ☎047-710-0331

幸樹会本部 ☎047-701-7550

〒270-2254 千葉県松戸市河原塚 411-1 幸樹会館



絵

井上 忠司

愛知県生れ。文化学院デザイン科卒業後、グラフィックデザインの世界へ。食品関係・洗剤関係の仕事を経てパッケージのアートディレクター（AD）になる。リタイア後に趣味で始めたバードウォッチングの魅力に夢中になり、10 年間鳥の絵を描いてきました。さんしょうのご利用者です。

第 25 回地域交流カフェ

餅つきと ♪音楽を楽しみました

熱唱する川添貴弘さん（写真下、右）とピアノ演奏の矢島吹渉樹（ふぶき）さん（左）



2月18日の地域交流カフェは「お餅つき&ミニコンサート」の欲張り企画でした。お昼前に幸樹会館ピロティで餅つき開始。杖で歩いている方も杵を持ったら腰が入り、文字通り「昔取った杵柄」。車椅子の方も、職員のサポートで杵を振りました。子どもたちも先生と一緒に餅つきを体験。みんなでお餅つきをした後は、お昼には「お餅ランチ」を堪能しました。

昼食の後、三和病院の皮膚科医師川添貴弘先生とピアニストの矢島吹渉樹さんによるミニコンサート。普段自室からあまり出てこない利用者さんも、「聞きたい」と車椅子で移動して、素晴らしい歌声に聞き惚れ、一曲ごとに拍手、終わった後には「とってもよかった」とうれしい笑顔でした。音楽の力の素晴らしさを感じさせられました。懐かしい楽曲を堪能し、全員で「東京ラブソディ」を歌い、楽しくコンサートが終了しました。今後、川添先生が定期的に開催していただけるということなので、今回来られなかった方も次回の機会にぜひお越し下さい。（中村 佐智）

車椅子の方も昔を思い出して杵を振るう





「歯が丈夫なのよ」

まちやまみさお
町山 操 さん(80歳)

昭和15年生まれの操さんは、時々ご自分の歳を忘れてしまいますが、ご主人亡き後も自宅で一人暮らしを続けています。「私は生来の元氣

者で、お産以外では入院したこと無いのよ」といつも話す操さんにお聞きしました。(聞き手・浅尾いずみ)

玄関の引き戸をノックすると「開けてあるから入っておいで～」とお元気な声。お茶の間へ入るとストーブをつけて足元には毛布を掛け、テレビをご覧になっています。ニコリと笑いながら「寒かったから(ストーブに)あたって」と促してくださいました。

操さんが生まれた実家は、松戸市栄町の江戸川近くの農家。母親を早くに亡くされましたが、継母がとても良くしてくれたと話されます。中学卒業時には親戚の方が「これからは女の子も学校を出ておかなくては」と高校進学を後押ししてくれ、東京の高校まで通わせてもらいました。栄町の家から松戸駅まで走っていったり、知り合いの方が軒先に自転車を置かせてくれたので、そこから駅まで大急ぎで走ったり、とても元氣な高校生活だったそうです。

卒業後は毛糸の卸問屋に就職し、上野松坂屋の売り場で編み物の実演販売をされました。お客様の作りたい作品にあわせた毛糸を選んだり、編み方を説明したり、とても楽しくお勤めされました。

子どもの頃から知り合いだったというご主人と結婚後は退職され、自宅を構え現在に至っています。お酒の好きだったご主人は、ご近所のお友達と楽しく飲み歩き、玄関で眠ってしまうこともしばしば。しかし、楽しくお酒を飲まれる方だったのでトラブルは無かったからよかったそうです。でも、お酒が原因で倒れ、お亡くなりになったと言われ、「先に行っちゃって…。ちっともお迎えに来てくれないのよ」と、笑いながらも真剣な表情でお話しされます。

現在操さんは、都内に住む息子さん娘さんに支えられながら、週に2回デイサービスを利用し、あんず訪問看護が週1回、ケアステーションゆずがデイサービスの送り出しの他、服薬確認、生活援助として買い物や掃除などのお手伝いをしています。ご自身でも近くのスーパーへお買い物に行きお好きなものを購入しています。

ご自身で編まれたセーターやカーディガンを見せてくださいます。「あんた若くていいわね」とお会いするたびに言うので、「はい！皆さんからそう言っていただけるのでこの仕事は得なんですよ」とやり取りを繰り返しながら楽しく訪問させていただいています。操さんが60歳まで頑張ってお仕事をされていたので「あんたもまだまだ頑張りな！」と励ましてくれます。とてもお元氣な操さん、毎朝届けられる新聞と牛乳の配達を受け取って、これからもお元氣でいっぱい楽しいお話を聞かせてください。

ケアマネのこころ

あんず居宅介護支援事業所・仲田 三郎

私は介護職に就いて10年目ですが、今年の1月から居宅介護支援専門員(ケアマネジャー)を始めた駆け出しで、日々勉強をさせて頂いています。

ケアマネの仕事は様々な人的ネットワークの中で成り立っています。それに必要なコミュニケーション力は、話が上手ければ良いというわけではないので、きちんと相手の話を聞き、相手の立場を察し、まずは、相手の言葉に耳を傾けることを意識してみようと思っています。

一番は、ご利用者の目線で

ケアマネには、ご利用者の皆様との面接やカンファレンス、事務作業など数多くの仕事があり、私はまだまだできていませんが、限られた時間で上手く業務をこなしていくタイムマネジメント力を身につける訓練をしながら日々の業務を進めていきたいと思っています。ケアプランを書くだけではなく、ご利用者の皆様が困っていることや問題が起きた時に、フットワーク良く対応していきたいと思っています。

一番は、ご利用者の目線にたつことではないかと思っています。高齢で要介護の方はしてほしいことを的確に伝えられない場合もあるので、自分が最善と思ったことに驕らず、相手の状況や話をよく聞いて理解し、何をしたいと思っているのかを見抜く力も必要になって来ると思います。先輩ケアマネにわからないことは聞き、やりがいも持ちながら、ご利用者の笑顔を糧に、日々精進して行きたいと思っています。

編み物の実演販売が楽しかった



デンマーク便り…②

ラスムッセン 京子

デンマークの新連立政権の中心政党である社会民主党は、深刻な医師不足を解消するとして、「**新医師免許取得者の義務**—新しく資格を取得したすべての医師は、医師の不足している地域の医療機関で半年間働く義務を負わなければなりません。これは、研修医過程を終了し資格を得た直後に行わなければなりません」という選挙公約を掲げました。これで、医師不足の地域の一般開業医を補助することを保証するとしています。若い医師は非常に人気の高い教育受け、その後、高い職業安定性を享受します。その見返りに、デンマークの地方で起きている医療不足を緩和するために支援を依頼することとしています。

医師不足対策での応酬

これに対して、一般医組合の代表は、以下の様に抗議しています。

「地方医療現場の医師不足に対す



る政府からの政策案は、充分考慮された具体的で実践的な提案になっていません。社会民主党の政策案は、研修終了後のすべての若い医師に適用されるべきであると書いていますが、全国の一般医の診療所で1,000人も研修終了したばかりの医師を受け入れるというのは不可能です。若い医師に対して十分な臨床アドバイスや、診療および医療行為の監督のために時間を取られ、医師不足を更に深刻なものにするでしょう。それに現場には、若い医師のためのコンピューターもなく、診察用ベッドもないし、彼らが使える診察室ありません。殆ど実現不可能な社会民主党の政策目標に振り回されて地方の医療事情を更に悪化させるわけには行きません。

政治家に私たちの職業や専門分野への理解が欠けているからではないとは思いますが、例えば脳外科医が脳の手術が出来るのはその専門医教育を受け技術を習得したからです。それは他の医師ができることではありません。私たち一般医が一般医学の専門教育を受けているのには理由があり、患者のために、一般医学の専門家として早期の診断・治療をし、更に早期の慢性疾患患者を見分け適切な診断・検査のために病院の専門の科の診療が必要であれば、連携します。患者に対する診断・治療・選別の専門医教育を受けたことの無い研修医終了したての医師に要求するのは避けるべきです。医療行為は、責任も重い仕事です」

第21回さんしょう運営推進会議の報告(2/18)

今回は、事前に配布させていただいた「2019年度事業所自己評価」をもとに、委員の皆さんに今年度の当事業所に対する講評をいただきました。「看多機に期待されている訪問・通い・泊りを臨機応変に柔軟に活用できていて、地域活動、看取りについては経験を積み重ね良く頑張ってきている」「地域活動にも良くとりくんでいる」「病院とは違う看取りの形も学ばせてもらった」等の評価をいただきました。「どのような医療ニーズの方が多いか」という質問をいただき、看取り、難病、在宅酸素、中心静脈栄養、点滴など様々な医療的ケアが必要な方々がいらっしゃるとう答えしました。皆様からの期待を感じるとともに、ご意見を参考にしながら、来年度の事業運営に活かしていきたいと思っております。

現在の運営状況は、利用者数が28名前後で推移し、平均要介護度 3.03 になっています。利用者数は定員に近い状況ですが、新規もこの間5名お受けしています。まずはご相談頂ければと思っております。

参加者は利用者・家族が井上忠司さん、小島幸太郎さん、濱田靖彦さん、高齢者支援ボランティアたんぼの会副代表・鈴木道子さん、三和病院MSW・藤井弘子さん、東部包括支援センター・末澤恵子さん、看多機わいわい豊夢・三村謙二さん、看多機サボテン・松下淳さん、幸樹会職員5名の計13名でした。ご参加ありがとうございます。(大塚かすみ)

八柱学習会

●前回報告 助言者 武井幸穂氏
2月21日(金)、18:30~

NHKスペシャル「大往生〜わが家で迎える最期」を視る 参加者11名。かつて東大病院外科で活躍された森鷗外の孫小堀鷗一郎医師(80歳)の在宅医療に向かう姿勢と84歳の父を支える全盲の一人娘とその親族などの姿に共感・感動した、との感想がだされた。

▼次回学習会予定(「定例日:毎月第3金曜日」)

●3月13日(金)、18:30~(3月は第2週)
NHKスペシャル「認知症の第一人者が認知症になった」を視る

場所:幸樹会館2階会議室《参加自由》

今月の屋上太陽光発電量は、

891KWh



幸樹会館電力使用量 6104KWh 自給率 14.60%

職員募集! 非営利・働きがいある職場
薬剤師・看護師・介護職員

●無資格の方もご相談を。資格取得支援制度あり
問い合わせ:本部中野まで、☎047-701-7550